

「フォールドデッキ」 導入 × 「エコライナー」 利用 の合わせ技で「物流改革を推進！」



×



2019年2月6日 クリモトロジスティクス株式会社

「エコライナー」利用による積送（置場間輸送）

- ① 関東（市川市）
- ② 東北（岩沼市）
- ③ 九州（北九州市）



「エコライナー」利用による積送（置場間輸送）

弊社では大阪で製作したダクティル製の水道管・バルブを各置場まで、エコライナーを利用し積送（置場間輸送）を行っています。

①小管（φ50～φ250）＋ 異形管・付属品を積載。

エコライナーの積載重量を
「**最大限**」に使っている！

トラック輸送と比較し
「**CO²排出量を削減**」出来る！



「エコライナー」利用による積送（置場間輸送）

弊社では大阪で製作したダクタイトル製の水道管・バルブを各置場まで、エコライナーを利用し積送（置場間輸送）を行っています。

②バルブ

積み重ねが出来ていない為
エコライナーの容積・積載重量を
「**最大限**」に使えていない・・・。

積み重ねを嫌う製品を
積送する場合
容積・積載重量 共に**ロス**が目立つ。



物流改革にあたって（改革前）

そこで、みんなで考えました。何とか効率良く積送出来ないか？

製品の特性上積載重量を
満たす事が出来なくても
せめて容積を満載にし
積送を行う事が出来ないか

空間＝ロスを埋める事が
出来ないだろうか。



物流改革にあたって（改革中）

積込前 梱包 + 荷卸後 開梱

輸送梱包

- ①積み込み時 準備に手間暇
- ②天候により品質が不安定



物流改革にあたって(改革後)

積込前 組立 + 荷卸後 収納

フォールドデッキ

- ①重機を使い「容易」な組み立て
- ②輸送梱包＝「不要」
- ③天候に「左右されない」材質
- ④返却時は「コンパクト」に輸送



物流改革にあたって(改革後)

フォールドデッキとエコライナーの「メリット」

- ①エコライナーの容積を「最大限」に活用
「2階建ての積み込み」を行い
物流コスト削減
- ②形状の異なる
「多品種小ロット品も高効率に輸送可能」
となった。
- ③「輸送手段の多様化」



「フォールドデッキ」導入 × 「エコライナー」利用 の合わせ技で「物流改革を推進！」

ここが「ポイント」重要なのでもう一度！

①「エコライナー」の容積を最大限に利用し、輸送量を「より多く確保」し
「物流コストを削減」

②形状の異なる「多品種小ロット品も高効率に輸送可能」となった。

③「輸送手段の多様化」

エコライナー ラウンドユース 関西⇔関東 2018年 5月より採用しました。

関西 → 関東
通常は片道



関西 ⇔ 関東
ラウンドユース
往復+α

エコライナー ラウンドユース

12月

31コンテナラウンド輸送決定

配送課
2018/11/29作成

事例として

2018年12月度の実績

ラウンドユースを行い
1本のエコライナーで
1ヶ月間連続して往復荷と
して運用できました。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	大阪積み	関東卸	協同大阪卸 大阪積み	関東卸	協同大阪卸 大阪積み	
		協同関東積み		協同関東積み		
9	10	11	12	13	14	15
	関東卸	協同大阪卸 大阪積み	関東卸	協同大阪卸 大阪積み	関東卸	
	協同関東積み		協同関東積み		協同関東積み	
16	17	18	19	20	21	22
	大阪積み	関東卸	協同大阪卸 大阪積み	関東卸	協同大阪卸 大阪積み	
		協同関東積み		協同関東積み		
23	24	25	26	27	28	29
		関東卸	大阪積み	関東卸		
		協同関東積み				

実績報告

関西⇔関東
往復+α

物流改革報告 終わりに

今後も弊社(クリモトロジスティクス)は

「安全」「お客様満足」を第一に考え

「輸送コスト削減」「地球環境負荷の低減」に努めて参ります

今後も皆様 どうぞ宜しくお願い致します。

ご静聴ありがとうございました。 クリモトロジスティクス株式会社